

ご提案いただきました町長への手紙を公表します

あなたの声を町政に

広報12月号で「町長への手紙」を募集したところ、2月1日現在で21通の手紙をいただき、50項目もの提案、要望等をいただきました。

今回は、紙面の都合により8項目の貴重なご意見を匿名で紹介します。

尚、今回の回答に対し、「ご意見、ご要望等ございましたら、役場受付前にあります「提言箱」に投函いただくか、ホームページの E mail: sounu@town.fujimi.nagano.jp」ご意見等をいただきたいと思います。



パノラマスキー場の再生について

最近、少子高齢化と共にレジャーの多様化と、ましてや経済を取り巻く環境が大変厳しい中、経営不振も無理もない側面でもありますが、来場者を育てることが重要だと思います。特に子供の頃からスキーに馴染んで親子で参加してもらう。またコンサート会場や100名山ハイキングといったイベントを行なって場所を認知してもらうことが必要だと思います。

町のスキー場が2ヶ所ありますが、パノラマが大変だから1ヶ所にしたらどうですか。

スキー関係の冠大会の誘致やコマースシャルエリアへの看板の設

置推進。上部貯水池エリアに夏草等を植えたらどうですか。

回答

富士見パノラマリゾートではリフト・ゴンドラ料金を町内の小学生3年生以下を無料に、小学4年生以上6年生までは1日券を通常2千円を1千500円に又一般町民の方にも1日券4千500円を2千円にして多くの町民の皆さんが地元のスキー場を利用していただけるように努力しています。

将来、スキー人口を増やす要因になることを望んでいます。

パノラマリゾートの認知につきましては、年に2回、夏秋のPRとして入笠山の草花・ハイキングの紹介を、冬はパノラマスキーのPRを友好都市の多摩市や川崎市の庁舎、大学関係、JR駅では横浜、川崎、新宿、八王子、三鷹、中野、町田、山梨の甲府、韮崎、長坂、小淵沢、長野県内は松本、塩尻、岡谷、諏訪、茅野でチラシを配布してきました。コンサートにつきましては地元での団体主催による「ピクニックコンサート」くらい

ですが、他にも問い合わせはあるようです。こうした地道な活動が成果として実になるよう努力して参ります。

町内のスキー場を一本化したらどうかについては、設置目的および経営母体が違うので一本化することはできません。富士見高原スキー場は本郷・落合・境の三財産区が主に出資している富士見高原保健地管理(株)で、富士見パノラマスキー場は(株)富士見町開発公社が経営を行っております。仮に経営を一体化したら母体が違うのでどちらの団体が経営を行なうのが問題となってきます。また、どちらか一方がやめることについては、富士見高原スキー場については、スキー場周辺にある各施設を保健地管理(株)が一体的に管理運営しており、冬季の雇用問題等から廃業は難しい状況です。また、富士見パノラマスキー場についてはご存知のように現在多額の債務があり、やめた場合その返済等の処理を町がしなければなりません。また、雇用問題や町内業者への影響が大きいことからやめる判断が難しい状況です。

スキー関係の冠大会誘致ですが、現在スキーブームが停滞しているなかで協賛していただける企業がないのが現状です。また、独自の開催では計測機器の手配等大会に係る運営費がかかり、収支を考慮すると主催は出来ない状況です。